

未来の為に、僕らができること

つながるう柏！
明るい未来
プロジェクト



自己紹介

■川田晃大（かわだてるお）

- 36歳
 - 柏在住、都内IT会社勤務のサラリーマン
 - 子供が一人（1歳）
 - 桜台保育園 ⇒ 5小 ⇒ 2中
 - 市役所への用事 ⇒ 住民票
 - 休日は、愛犬とドッグラン
- ⇒どこからどう見ても普通の柏市民。



つながろう柏！明るい未来プロジェクトとは

■ 柏の市民による 放射線対策プロジェクト

目標・ビジョン

- 市民による市民の、市民の為の放射線対策をする。
- 無理をせず、具体的で達成可能な活動をする
- 行政とも協業し、それぞれの得意分野を活かしながら効果的に放射線対策に取り組む
- 可視化をテーマにやってみることを見えるようにする。
- 放射能対策を前向きに考えた街づくりに協力する。



答えを求めて。。。 (発起の思い)

- 柏が放射能で汚染されてしまった
 - ⇒国や東京電力を責めてもすぐには解決しない
 - ⇒自分達で解決できることがあるならそれをしていきたい！
- 放射能は目に見えず、柏市内のどこがどれくらい線量が高いのかわからない
 - ⇒わかりやすいマップを作りたい！
- 柏の市民、行政、産業、すべての人が被害者
 - ⇒困難な時だからこそ協力し、
 - 柏を自分たちで(より良く)変えていける街にしていきたい！
 - 「ピンチをチャンスに」は目標でなく結果に！



答えを求めて。。。 (活動テーマ)

■ 約70名の市民が参加

つながろう柏！
明るい未来
プロジェクト

柏計測隊
(計測チーム：外部被曝)

ココ掘れワンワン隊
(除染チーム：外部被曝)

One-One給食隊
(食：内部被曝)

だんだん安心隊
(お母さん達のネットワーク)

わんわん情報局
(正しくてわかりやすい情報)



答えを求めて。。。 (活動内容)

■ 柏計測隊

- 柏市の放射線対策室や公園管理課と連携し、市内の20以上の公園の放射線量を計測、マップを作成
- 県立の柏の葉公園を自主的に計測し、市経由でデータを県に提出。
その結果、県が立ち入り禁止と除染を決定。

■ ココ掘れワンワン隊

- 子供がよく利用していて高線量の施設の除染活動を柏市と協働で実施
- しこだ児童センター、豊四季台児童センター、根戸近隣センター、北部近隣センターを除染



答えを求めて。。。 (活動内容)

■ One-One給食隊

給食隊では『実際に給食に含まれている放射性物質の量が分からない』という不安を取り除く為に、給食まるごと検査を市に要望しました。この給食まるごと検査は、事前検査されない加工品や調理用の水も含めて、実際に提供された給食を精密測定するものです。おかげ様で1月から沼南給食センターを中心にスタートしました。

■ だんだん安心隊

大地震、未曾有の原発事故を間のあたりにして、いち早く子供達を守る為に動き出したのは普通のお母さん達でした。まっすぐに子供に向き合っているからこそ情報の氾濫や周囲との温度差に苦しんでいました。

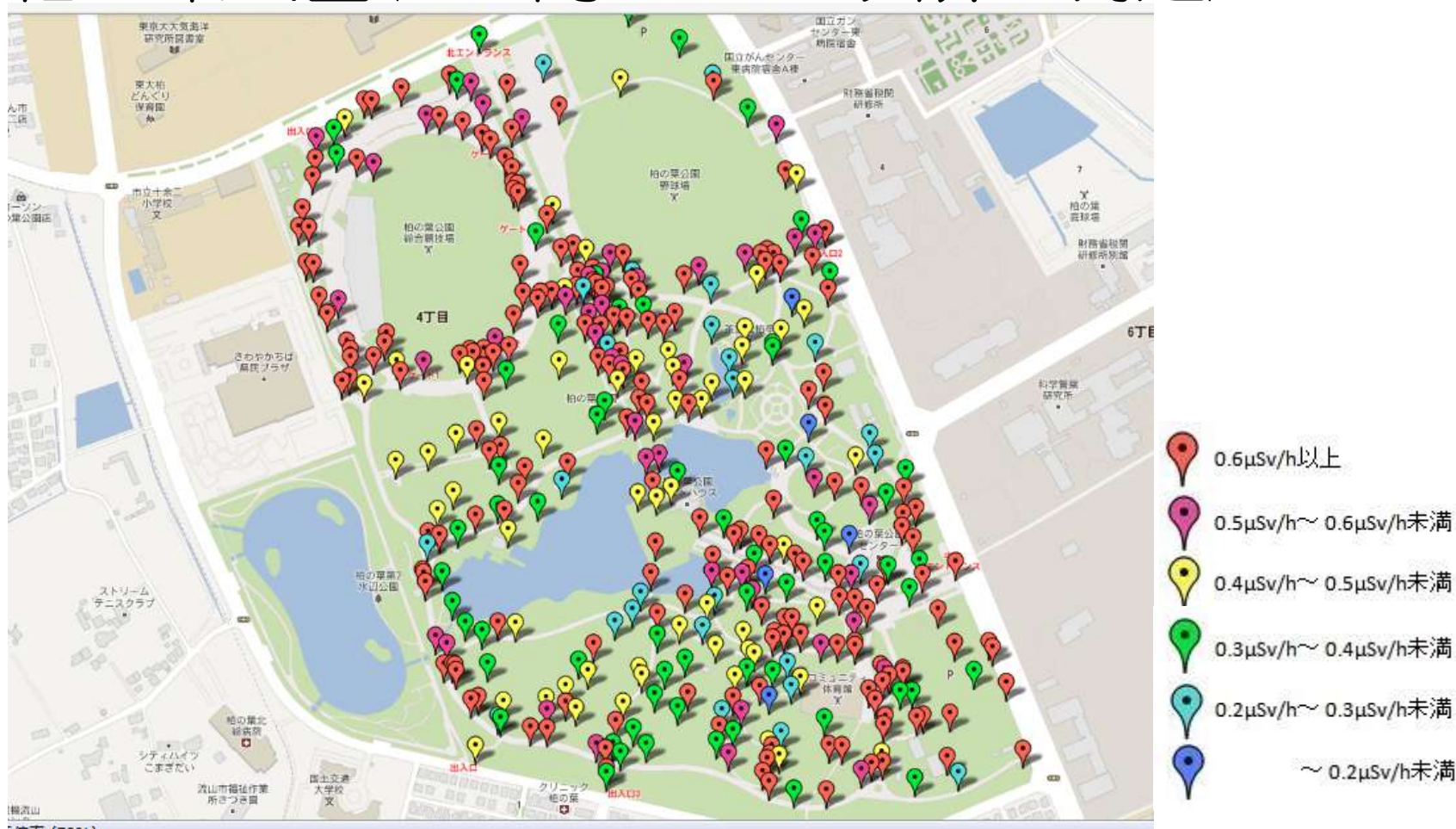
プロジェクトの中に計測や除染に立ち向かうチームが出来たとき、お父さん達のいう、具体的アクションによる「安心・安全」への道筋の他に、漠然とした不安を共有し理解を深めて冷静になる為の場が必要になってきました。

そこで出来たのがお母さん達のコミュニケーション「しゃべり場」という答えです。



公園の放射線量マップ作り②

■ 柏の葉公園 (2日間で394ヶ所の測定)



柏の計測で得たノウハウ

- 柏も雨水の集まる集水ます周辺が高い
- 舗装された場所から雨水が流れ込んだ場所や道路と芝生の境目がより高い



柏の計測で得たノウハウ

- 木の根元や水が引いた後の水路の中



- その他、側溝、落ち葉や砂の吹き溜まり、等
⇒自分たちで計測することで、**どんな場所の線量が高いのか、傾向がわかる**ようになりました。



計測のまとめ

- 計測しないことは、推測しか生まない。推測から行動しても、結果が出ない。
- 計測することで、見えないものが見えてくる。計測結果を持って除染すれば結果がでる。
- 高い場所は部分的、濃縮が進みピンポイントになっている、全部を除染しなくてもいい。

⇒除染するにはまず
計測を！



施設の除染活動①

■ しこだ児童センター（2011/10/29）

全体的に線量が高い施設



●参加者
ワンワン隊 17名
職員 5名

初めての除染でも、
しっかり計測し、計
画を立てて、しっか
り結果を出しました。

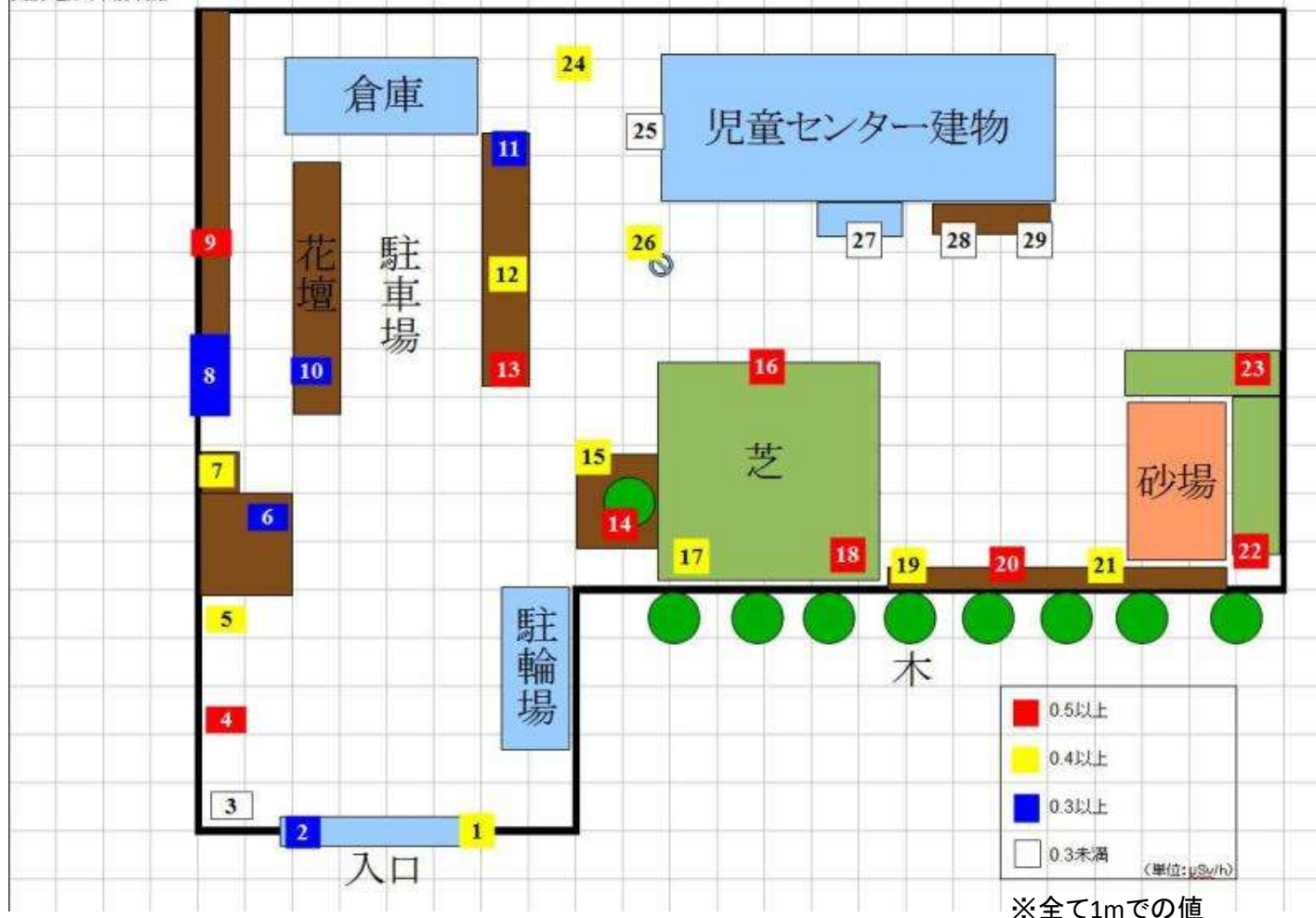


施設の除染活動①（マップ作り）

しこだ児童センター放射線量測定図

測定日時: 2011年10月15日 15:00~15:30

天候: 曇り(午前中雨)



施設の除染活動②

■ 北部近隣センター（2012/2/4）

部分的に線量が高い施設（アスファルト含む）



●参加者	
ワンワン隊	16名
近隣町内会	10名
近隣センター職員	1名
柏市地域支援課	1名
取材記者	2名

地元の町内会の多くの方にご協力いただき、かなりのスピードで作業



除染の結果

■ 篠籠田児童センター

- 地上1 m 0.58 $\mu\text{sv/h}$ のポイントが0.40 $\mu\text{sv/h}$ まで低下、除染地点9ヶ所中6ヶ所で線量低下、変わらず1ヶ所、上昇2ヶ所

■ 豊四季児童センター

- 地上5cm平均1.07 $\mu\text{sv/h}$ が、除染後に平均0.21 $\mu\text{sv/h}$ まで低下

■ 根戸近隣センター

- 子どもルーム園庭脇の草地、その周囲のアスファルト面では目標の地表5cmで0.23 $\mu\text{sv/h}$ 以下まで低下（桜の木の下4ヶ所5cmで0.8 $\mu\text{sv/h}$ ⇒0.23 $\mu\text{sv/h}$ 以下）

■ 北部近隣センター

- 地上5cm平均0.569 $\mu\text{sv/h}$ が、除染後に平均0.287 $\mu\text{sv/h}$ まで低下



除染とは何か

- 溜まった放射性物質を掃除して、その場所から除去する手段
- 直接、放射線量を低減させる手段
- 1か所に集めて子供たちや、自分達の生活空間から遠ざけ、放射性物質を管理できるようにする手段
- 危険を回避する為の手段
- 危険を管理する為の手段



除染のメリットは？

- 子供の生活空間の線量が低下する
(別の場所に移動し、管理するだけ)
- 健康被害の心配・放射線の影響の有無やしきい値をめぐる長い議論・コミュニティ内や夫婦間での温度差などを直接解決できる

⇒いろいろな人がそれぞれ、違う形で心配をしているが、線量を下げることが誰も反対しない、共通した解決への道



なぜ除染するの？

- 原因はともかく、今ある危機は自分の生活に関わる問題だから。
(自分の住んでる所に放射性物質が降ってきた)
- 子供の生活空間を親がきれいにする
- 柏の問題の大部分は外部被ばくのリスク、子供の生活エリアだけでも、早急に除染することが直接的で現実的な解



なぜ市民なの？

- 除染は誰にでもできる
- 国や県ならともかく、市単独での民有地の除染の完了を待っていたら何年もかかってしまうでしょう
- 学校の敷地など広くて重機が適したところは行政で、細かくて小さなスポットは少人数で機動的に

⇒重機でやるべきところはきっちり行政がやる

⇒市民でできるところは市民でやってさっさと終わらせる

⇒自分たちの為に協働のメリットを最大限に活用する



なぜ市民なの？

- 市有地も民有地も関係なく汚染されている
- 誰がやるべき？という当然の葛藤と時間の経過
- でもその間にずっと被ばくし続けるのは？

⇒子供です！

⇒怒るのは後でもできる

でも除染は後回しにできない！



除染は難しいのでは？

- ワンワン隊にはこれまでの除染のノウハウがあります。
- 少ない人数で、効果を出してきました。
- 短い時間で、効果を出してきました。
- 困難な環境で、効果を出してきました。

⇒ ノウハウを全て皆さんと共有します！



除染のノウハウ①

- 芝生の根は、角スコ×、三角スコップ○、クワ△ジョレン◎
- 作業しながら計測をした、効果が出ているか確認しながら計画の適性を確認する。
(最後で気がついていても遅い)
- 道具類を置いた場所が、作業動線を考えていないとかえって邪魔になる。
- 掘った後に、その穴を埋める土を用意する
- 子供の動線を中心に高い部分を選定し作業計画を立てる。必要のないところを作業しない。



除染のノウハウ②

- 面積が広い場合や作業種別が違う場合には、服装や体力などを考慮して、落ち葉、アスファルト、雨水桝、芝生、場所などで班分けする。
- 決まった人数単位で、作業指示の出せる人を配置
- 事前に**作業内容と目的**が書いてある作業計画書を全員に配る。
- 作業責任者が休憩を**全員に**指示、もしくは**予定時間に組み込んでおく**
- 土を袋に詰める人と土を掘る人で2人組を作る



除染のノウハウ③

- 水道の場所、電源、近隣の方との協力関係、参加人数、性別、作業分担、気温、天気、休憩時間、総作業時間などを「除染チェックシート」を使ってチェックしておく
- チェックした項目を元に、作業計画者（アドバイザー）と作業計画を立てて、「作業計画書」を作り、当日全員に配布
- 誰かにいちいち聞かなくてもみんなが自分自身で考えて動けるようにサポートする
- 作業の途中で必ず線量を計る！効果的な除染をしているかどうかを常に確認しながら作業を継続する
- 作業中はマスクを取らない、安全を軽視しない。服はすぐに着替えて洗う



除染のノウハウ まとめ

- 除染方法は場所によって違う！
- 単なる技術としての除染だけを考えると失敗する
- 丁寧にしっかり計測をして、予め除染する場所を限定しておくなど事前に作業計画を立てることが成功への道。
- 柏の除染は、部分除染。無駄な土を削らない、無駄な体力を使わない。迅速にやる。



全体のまとめ

- 身の回りを徹底的に計測しよう！
- 計測して、濃縮が起きているところを集中して除染しよう！
- 市と市民で一緒になって、民有地も市有地も関係なく、どこよりも最速で問題を解決しよう！



感謝

- これまで、つながろう柏！明るい未来プロジェクトに、参加・ご協力頂きました全ての方へ、心より感謝申し上げます。
- プロジェクトとして、何もお礼をすることができていませんが、柏の除染を進め一刻も早くこの問題を解決し、後顧の憂いを断ち、前を向いて次のステップに進もうと思っております。
- 本当に皆様1人1人のお力によって、ここまでプロジェクトは大きく成長出来ました。柏は本当に人が熱くて、可能性や才能にあふれた、素敵な街だと思います。

